

配 当 年 次 ・ 単 位 ・ 授 業 形 態	3 年 次	開 講 期 後 期	選 択 2 単 位	実 習
授 業 科 目 (英 名)	公衆衛生看護学実習 I (Public Health Nursing Practicum I)			
担 当 教 員 名	◎伊藤 千春 [専任] 尾崎 美恵子 [専任] 神庭 純子 [専任] 飯塚 ちひろ [専任] (◎は科目責任者)			
[授業の概要] 地域保健活動を展開するための基礎的能力を養うために、市町村保健センター等における地域保健活動の実際について理解する。				
[到達目標] 1. 市町村で行われている地域保健活動の体系を、地域特性と関連づけて理解する 2. 地域看護活動を展開している市町村保健センター等の役割と機能を理解する 3. 地域における保健師活動の実際を見学し、保健活動の意義とその必要性を理解する 4. 地域で生活している個人・家族・集団のセルフケア能力を高めるための支援方法を理解する 5. 地域における保健・医療・福祉の連携のあり方を学び、地域保健活動におけるケアシステムの必要性と保健師の役割を理解する				
授業計画				担当者
<p>実習期間：2021年2月1日～2月19日のうち2週間 実習内容・方法は実習要項を参照 担当教員：この科目は実習科目なので、すべて伊藤・尾崎・神庭・飯塚の4名で担当します。</p>				伊藤 尾崎 神庭 飯塚
成 績 評 価 と 基 準	評価表に基づいて総合的に評価します。詳細は実習要項を参照。			
履 修 上 の 注 意	履修規定に定められた出席時間数を満たすこと（実習時間の4/5以上の出席）が単位認定の条件となります。詳細は実習要項を参照。			
全 学 年 を 通 じ て の 関 連 科 目	公衆衛生看護概論、公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅱ			
[ディプロマポリシーとの関連]	本科目は、看護学部ディプロマポリシーの4,5,6と関連しています。			
教 科 書	公衆衛生看護概論および公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書			
参 考 書 ・ 参 考 資 料 等	適宜紹介します。			
オ フ ィ ス ア ウ ー	担当教員は、実習期間中、教室や研究室、実習先施設において担当科目に関する質問を受け付けます。			